

平成27年

火災・救急・救助
などの活動概況



©稲沢市いなッピー
火の用心

稲沢市消防本部

目 次

稲沢市管内概要	1
緊急出動概況	2
訓練指導及び調査概況	4
予防概況	6

火災

火災概況	9
年別出火件数・年別損害額	10
署別出火件数・月別出火件数	11
曜日別出火件数・時間別出火件数	12
火災による死傷者数	13
出火原因別出火件数・出火原因の推移	14

救急

救急概況	15
種別ごとの救急出場件数	16
署別救急出場件数・月別救急出場件数	17
医療機関別搬送人員・時間別救急出場件数及び搬送人員	18
傷病程度別搬送人員	19
収容所要時間別搬送人員	20
曜日別救急出場件数及び搬送人員	21

救助

救助概況	22
------------	----

稲沢市管内概要

面積・人口・世帯数

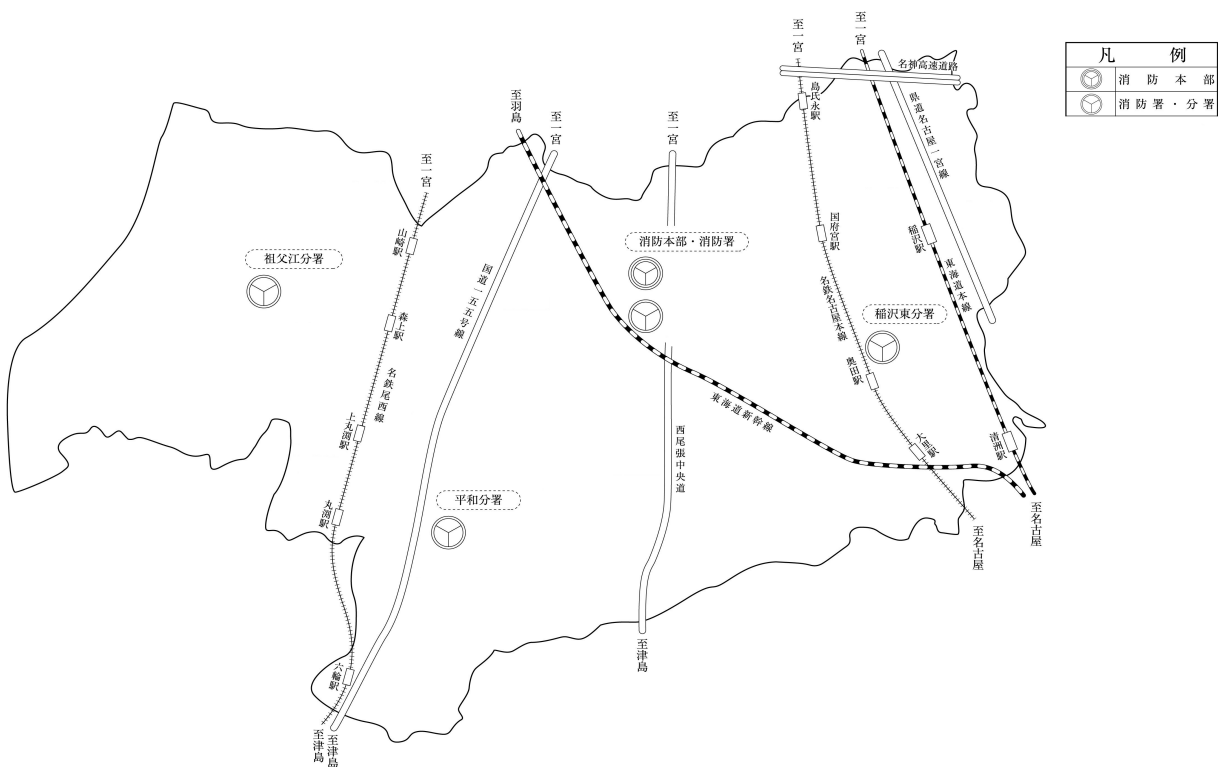
平成28年1月1日現在

区分	面積(k m ²)	人口(人)			世帯数
		男	女	合計	
稲沢市	79.35	68,481	69,608	138,089	52,864

消防本部・消防署 名称・所在地

署別	所在地
消防本部・消防署	稲沢市船橋町鯉坪321番地1
稲沢東分署	稲沢市井之口沖ノ田町37番地
祖父江分署	稲沢市祖父江町上牧下川田454番地
平和分署	稲沢市平和町中三宅高道34番地

消防本部・消防署配置図



緊急出動概況

消防部隊の緊急出動状況は、第1表のとおり6,844件で、前年と比較して67件増加している。

1日当りの平均出動件数は18.8件となっている。また、火災、救急及び救助出動以外に、1,035件の緊急出動をしている。緊急出動を種別に見ると、救急出場が5,653件(82.6%)と最も多く、次いで、救急支援出動が798件(11.7%)、警戒出動が218件(3.2%)の順となっている。

第1表 緊急出動状況

(件)

種別 署別		火災	救急	救助	警戒	調査	救急支援	その他	合計	比率
		本署	平成26年	40	1,864	44	54	7	255	4
	平成27年	35	1,693	42	96	5	282	3	2,156	31.5%
稲沢東分署	平成26年	27	2,151	16	35	9	274	3	2,515	37.1%
	平成27年	20	2,308	15	39	3	282	5	2,672	39.1%
祖父江分署	平成26年	17	875	1	24	7	126	4	1,054	15.5%
	平成27年	12	889	9	27	1	130	2	1,070	15.6%
平和分署	平成26年	20	757	10	27	1	124	1	940	13.9%
	平成27年	15	763	8	56	0	104	0	946	13.8%
合計	平成26年	104	5,647	71	140	24	779	12	6,777	100.0%
	比率	1.5%	83.3%	1.0%	2.1%	0.4%	11.5%	0.2%		
	平成27年	82	5,653	74	218	9	798	10	6,844	100.0%
	比率	1.2%	82.6%	1.1%	3.2%	0.1%	11.7%	0.1%		

- (注) 1 「警戒出動」とは、ガス漏えい、危険物漏えい、即時通報、怪煙その他災害の発生が予想されるときに出動するものをいう。
 2 「調査出動」とは、災害の予防上必要と認められるときに出動するものをいう。
 3 「救急支援出動」とは、119番通報時に心肺機能停止傷病者と判断されたとき、所轄の救急隊が出場中のとき、交通事故等の発生場所が幹線道路のとき、傷病者が過体重のとき、発生場所が狭隘・高所・低所のとき、加害事故のとき等で、救急隊の活動を支援するために出動するものをいう。
 4 「その他出動」とは、傷病者の捜索のとき、河川等における人の捜索のとき、遺体の収容のとき、動物の救出及び除去のとき等に出動するものをいう。

緊急出動件数を月別に見ると、第2表のとおり年間を通じて平均的に出動している。火災、救急及び救助出動以外では、救急支援出動は月平均で66.5件、警戒出動は月平均で18.2件出動している。

第2表 月別緊急出動状況 (件)

種別・署別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	小計	合計
火災	本署	1	2	4	1	2	3	1	7	2	6	1	5	35	82
	稲沢東分署	0	1	2	1	3	0	0	2	2	5	0	4	20	
	祖父江分署	2	1	2	0	0	2	0	1	1	2	0	1	12	
	平和分署	2	1	0	0	0	2	2	3	1	3	0	1	15	
	小計	5	5	8	2	5	7	3	13	6	16	1	11	82	
救急	本署	167	133	169	155	130	114	144	146	147	122	130	136	1,693	5,653
	稲沢東分署	243	185	188	200	176	178	195	217	156	184	180	206	2,308	
	祖父江分署	84	63	98	73	62	64	73	72	66	71	80	83	889	
	平和分署	87	67	54	59	56	49	64	62	73	67	58	67	763	
	小計	581	448	509	487	424	405	476	497	442	444	448	492	5,653	
救助	本署	3	4	3	2	3	4	7	6	1	3	5	1	42	74
	稲沢東分署	1	2	0	1	3	1	1	2	0	0	1	3	15	
	祖父江分署	0	0	2	1	0	2	3	0	0	1	0	0	9	
	平和分署	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	2	1	8	
	小計	5	6	5	4	6	8	12	9	2	4	8	5	74	
警戒	本署	4	6	6	4	6	9	7	7	10	11	11	15	96	218
	稲沢東分署	5	2	5	4	3	0	3	3	3	4	1	6	39	
	祖父江分署	2	1	1	2	4	2	4	1	2	4	1	3	27	
	平和分署	3	3	4	2	4	4	4	7	7	6	2	10	56	
	小計	14	12	16	12	17	15	18	18	22	25	15	34	218	
調査	本署	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2	5	9
	稲沢東分署	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	
	祖父江分署	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	平和分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	1	2	0	1	0	0	0	0	1	0	2	2	9	
救急支援	本署	17	24	32	32	23	17	25	24	25	17	24	22	282	798
	稲沢東分署	31	21	16	20	19	23	24	27	26	21	28	26	282	
	祖父江分署	13	8	10	21	8	13	9	6	8	18	8	8	130	
	平和分署	13	10	4	9	7	6	10	12	7	7	10	9	104	
	小計	74	63	62	82	57	59	68	69	66	63	70	65	798	
その他	本署	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	3	10
	稲沢東分署	0	0	1	0	0	2	1	1	0	0	0	0	5	
	祖父江分署	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	
	平和分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	1	0	3	2	2	1	0	0	1	0	10	
合計	680	536	601	588	512	496	579	607	539	552	545	609	6,844		

訓練指導及び調査概況

訓練指導及び調査状況は、第1表のとおり合計2,546回で、前年と比較して64回増加している。1日当りの平均では、訓練指導は1.9回、調査回数は5.1回となっている。

訓練指導及び調査回数を種別に見ると、75歳以上の1人暮らしの高齢者を対象とした住宅防火査察を1,560戸(61.3%)実施しており、次いで地理水利調査が242回(9.5%)、消防団訓練指導が241回(9.4%)の順となっている。

自主防災会、事業所及び教育機関については、合計324団体(12.7%)に対して訓練指導を実施している。

第1表 訓練指導及び調査状況

(回)

種別 署別		消防団 訓練指導	自主 防災会 訓練指導	事業 所 訓練指導	教育 機関 訓練指導	普通 救命 講習会	消防 署 見学	住宅 防火 査察	地理 水利 調査	枯草 調査	はし ご車 接 梯 調査	合計	比率
本署	平成26年	116	35	51	46	70	20	459	115	24	4	940	37.8%
	平成27年	117	32	47	49	60	29	549	73	14	1	971	38.1%
稲沢東分署	平成26年	31	39	45	13	19	7	518	108	19	0	799	32.2%
	平成27年	38	37	41	19	22	6	590	75	9	0	837	32.9%
祖父江分署	平成26年	72	10	24	8	10	4	213	51	14	0	406	16.4%
	平成27年	53	9	29	9	8	1	225	48	15	0	397	15.6%
平和分署	平成26年	37	23	19	15	4	3	170	58	8	0	337	13.6%
	平成27年	33	16	24	12	9	0	196	46	5	0	341	13.4%
合計	平成26年	256	107	139	82	103	34	1,360	332	65	4	2,482	100.0%
	比率	10.3%	4.3%	5.6%	3.3%	4.1%	1.4%	54.8%	13.4%	2.6%	0.2%		
	平成27年	241	94	141	89	99	36	1,560	242	43	1	2,546	100.0%
	比率	9.4%	3.7%	5.5%	3.5%	3.9%	1.4%	61.3%	9.5%	1.7%	0.1%		

- (注) 1 訓練指導、講習会及び見学は、各種団体等からの依頼に基づき行うものをいう。
 2 査察及び調査は、消防署の計画に基づき行うものをいう。
 3 住宅防火査察の数値については、調査した対象戸数をいう。

月別訓練指導及び調査状況は、第2表のとおり普通救命講習会及び地理水利調査は、年間を通して平均的に実施している。消防団訓練指導はポンプ車操法指導の関係で4月及び5月に、自主防災会等の訓練指導は防災訓練等の関係で10月以降に集中的に実施している。

住宅防火査察及び枯草調査は、各目的に応じて実施しているため、実施月に偏りが生じている。

第2表 月別訓練指導及び調査状況

(回)

月別別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	小計	合計
種別・署別															
消防団 訓練指導	本署	1	0	0	47	33	17	15	4	0	0	0	0	117	241
	稲沢東分署	0	0	0	23	15	0	0	0	0	0	0	0	38	
	祖父江分署	0	0	0	32	19	0	0	1	0	1	0	0	53	
	平和分署	0	0	0	19	14	0	0	0	0	0	0	0	33	
	小計	1	0	0	121	81	17	15	5	0	1	0	0	241	
自主防災会 訓練指導	本署	0	0	5	2	0	2	2	2	1	12	5	1	32	94
	稲沢東分署	1	2	1	1	2	4	0	2	6	9	7	2	37	
	祖父江分署	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	7	0	9	
	平和分署	0	0	1	0	2	2	1	2	2	3	2	1	16	
	小計	1	2	7	3	4	10	3	6	9	24	21	4	94	
事業所 訓練指導	本署	1	2	2	5	5	6	3	1	6	5	6	5	47	141
	稲沢東分署	1	7	1	5	2	4	1	0	2	10	7	1	41	
	祖父江分署	0	2	4	0	2	2	2	2	4	6	4	1	29	
	平和分署	1	0	2	3	4	1	1	1	3	3	5	0	24	
	小計	3	11	9	13	13	13	7	4	15	24	22	7	141	
教育機関 訓練指導	本署	0	1	2	2	9	11	3	10	1	3	7	0	49	89
	稲沢東分署	0	0	1	1	2	0	0	2	1	6	6	0	19	
	祖父江分署	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	5	0	9	
	平和分署	1	0	2	0	0	0	1	0	1	4	2	1	12	
	小計	1	1	5	3	11	13	6	12	3	13	20	1	89	
普通救命 講習会	本署	1	3	2	3	2	5	10	17	8	5	2	2	60	99
	稲沢東分署	1	3	0	3	2	3	1	2	4	2	1	0	22	
	祖父江分署	0	1	0	0	0	1	1	2	1	2	0	0	8	
	平和分署	0	0	1	0	2	1	3	2	0	0	0	0	9	
	小計	2	7	3	6	6	10	15	23	13	9	3	2	99	
消防署見学	本署	0	2	0	5	10	3	1	1	2	4	1	0	29	36
	稲沢東分署	0	0	0	0	2	1	0	0	1	1	1	0	6	
	祖父江分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
	平和分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	2	0	5	12	4	1	1	3	6	2	0	36	
住宅防火査察	本署	93	0	0	0	0	0	0	0	0	165	132	159	549	1,560
	稲沢東分署	152	0	0	0	0	0	0	0	0	146	139	153	590	
	祖父江分署	45	0	0	0	0	0	0	0	0	55	72	53	225	
	平和分署	42	0	0	0	0	0	0	0	0	49	58	47	196	
	小計	332	0	0	0	0	0	0	0	0	415	401	412	1,560	
地理水利調査	本署	10	7	0	1	0	8	9	13	13	4	7	1	73	242
	稲沢東分署	2	14	10	3	2	9	7	14	5	2	7	0	75	
	祖父江分署	0	4	13	1	8	7	6	4	1	2	1	1	48	
	平和分署	6	5	0	2	3	5	1	7	6	4	5	2	46	
	小計	18	30	23	7	13	29	23	38	25	12	20	4	242	
枯草調査	本署	7	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	14	43
	稲沢東分署	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	9	
	祖父江分署	2	4	0	2	0	0	0	0	0	0	2	5	15	
	平和分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	
	小計	13	6	3	2	0	0	0	0	0	0	2	17	43	
はしご車 接梯調査	本署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	稲沢東分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	祖父江分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	平和分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
合計	371	59	50	160	140	96	70	89	68	504	491	448		2,546	

(注) 住宅防火査察の数値については、調査した対象戸数

予 防 概 況

消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況は第1表のとおりである。

1日あたりの届出状況は平均10.3件である。届出状況を見ると道路工事届出書が最も多く1,076件(28.7%)、次いで消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書が978件(26.1%)となっている。

第1表 消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況

届 出 項 目	件 数	比 率
工事整備対象設備等着工届出書	170	4.5%
消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届出書	164	4.4%
消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書	978	26.1%
防火管理者選任(解任)届出書	254	6.8%
消防計画作成(変更)届出書	294	7.8%
道路工事届出書	1,076	28.7%
消防職員の派遣・指導・消防訓練実施届出書	505	13.5%
変電・蓄電・発電設備設置届出書	43	1.1%
禁止行為の解除承認申請書	32	0.9%
催物開催届出書	7	0.2%
露店等の開設届出書	69	1.8%
溶接溶断作業届出書	36	1.0%
防火対象物使用開始届出書	68	1.8%
防火対象物点検結果報告書	34	0.9%
ヒートポンプ・サウナ・ボイラー・給湯湯沸設備設置届出書	17	0.5%
合 計	3,747	100%

区分別消防同意状況は第2表のとおりである。1か月あたり平均14.7件の消防同意を実施している。区分別では新築が125件（71.0%）である。

第2表 区分別消防同意状況 (件)

区分	月別												合計	比率
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
新築	5	7	9	16	8	10	12	11	15	11	7	14	125	71.0%
増築	2	3	3	2	5	6	5	3	9	7	3	3	51	29.0%
改築														
用途変更														
その他														
合計	7	10	12	18	13	16	17	14	24	18	10	17	176	100.0%

消防用設備等の検査状況は第3表のとおりである。

第3表 消防用設備等の検査状況 (件)

消防用設備等	月別												合計	比率	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
消火器	消火器				3	3	8	3	4	7	3	1	32	14.0%	
	屋内消火栓設備			3	1	2	1	1	2	1		2	13	5.7%	
	パッケージ型消火設備					1		1					2	0.9%	
	スプリンクラー設備	1		1	2	1		2		1	1	1	10	4.4%	
	屋外消火栓設備		1	1		1							3	1.3%	
	泡消火設備				1		2						3	1.3%	
	粉末消火設備	1					1			1			3	1.3%	
	ガス消火設備														
	動力消防ポンプ設備														
警報設備	自動火災報知設備	6	1	7	3	6	5	6	6	7	5	3	9	64	27.9%
	消防機関へ通報する火災報知設備		1	3		1	1	2			2	2		12	5.2%
	非常警報器具・設備	1	1					2		1	2	1	1	9	3.9%
	非常放送設備	1			1	1	2	3	3	2	1	1		15	6.6%
	漏電火災警報器							1						1	0.4%
避難設備	避難器具		1				1	1	3	2	2	1		11	4.8%
	誘導灯・誘導標識	3	2	4	2	2	3	7	5	6	5	4	3	46	20.1%
その他	消防用水						1			1				2	0.9%
	連結送水管	1		1				1						3	1.3%
	非常コンセント設備														
	排煙設備														
合計	14	7	20	9	16	21	35	22	26	27	16	16	229	100.0%	

平成27年中における稲沢市内の危険物施設は294施設であり、その内の危険物製造所等の許可・届出状況は第4表のとおりである。

第4表 危険物製造所等の許可・届出状況

(件)

製造所等別 区分		製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				合 計	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所
許 可	設 置	0	1	0	0	1	0	1	2	1	0	0	2	8
	変 更	0	2	1	0	3	0	0	0	17	0	0	34	57
仮 使 用 承 認		0	2	1	0	2	0	0	0	16	0	0	33	54
完成検査	設 置	0	1	0	0	1	0	1	2	1	0	0	2	8
	変 更	0	2	1	0	2	0	0	0	19	0	0	29	53
予 防 規 程 認 可		0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
軽 微 な 工 事 届		1	2	0	1	1	0	0	0	10	0	0	22	37
品名・数量・倍数変更届		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
保安監督者選任・解任届		0	11	3	0	1	0	0	0	8	0	0	10	33
廃 止 届		0	1	0	0	2	0	0	0	3	0	0	0	6
合 計		1	24	6	1	13	0	2	4	79	0	0	132	262

(注) 危険物施設数は平成27年12月31日現在

火 災 概 況

火災の状況をみると第1表のとおり、出火件数が52件と前年（80件）に比べ28件減少し、建物火災は前年と比較すると10件の減少となっており、り災世帯及びり災人員についても減少している。

火災種別で見ると、その他の火災26件が全体の50.0%と最も高い割合であり、次いで建物火災が19件で36.5%、車両火災が7件で13.5%となっている。

第1表 平成27年中の火災概況と前年との比較

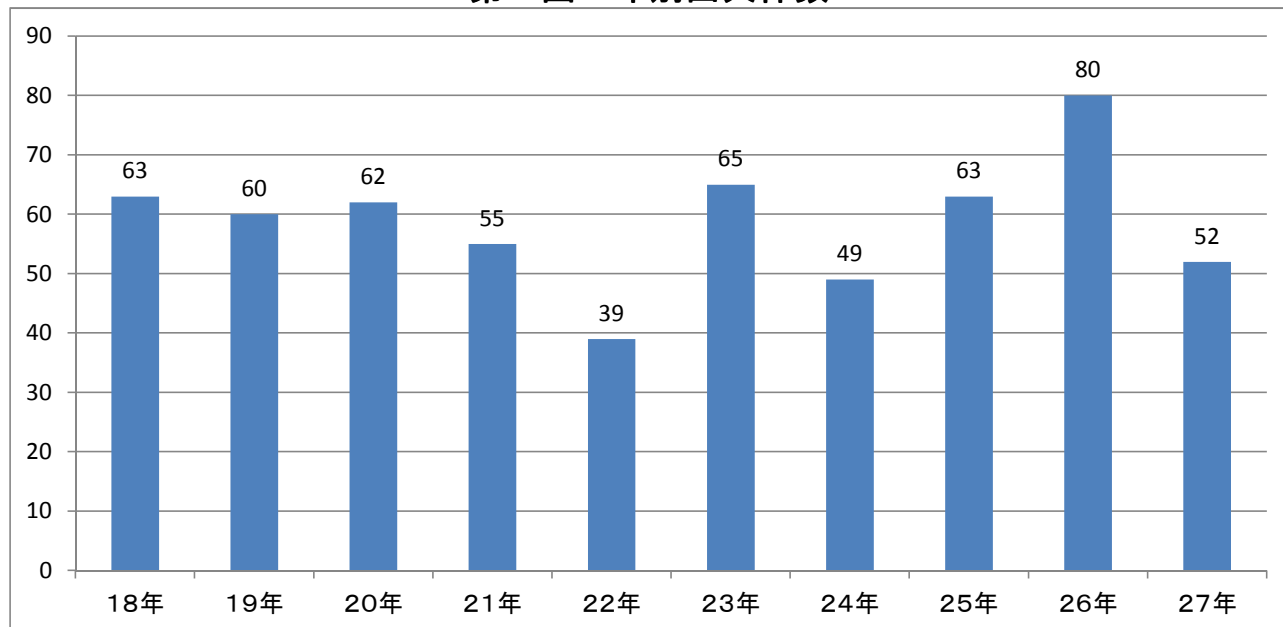
区 分	単位	平成27年(A)	平成26年(B)	増減(C) (A-B)	増減(%) (C/B)
出 火 件 数	件	52	80	-28	-35.0
建物火災		19	29	-10	-34.5
車両火災		7	6	1	16.7
その他の火災		26	45	-19	-42.2
焼 損 棟 数	棟	29	42	-13	-31.0
全 焼		8	9	-1	-11.1
半 焼		1	1	0	0.0
部分焼		6	18	-12	-66.7
ぼ や		14	14	0	0.0
建物焼損床面積	m ²	674	2,920	-2,246	-76.9
死 者	人	4	0	4	400.0
負傷者		4	8	-4	-50.0
り 災 世 帯	世帯	8	29	-21	-72.4
り 災 人 員	人	36	73	-37	-50.7
損害額	千円	52,804	339,096	-286,292	-84.4
建物火災		43,409	329,443	-286,034	-86.8
車両火災		1,924	2,525	-601	-23.8
その他の火災		7,471	7,128	343	4.8
出 火 率	%	3.8	5.8	1.3	26.7

- (注) 1 死者は、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者をいう。
 2 出火率は、人口1万人当たりの出火件数の割合をいう。
 3 損害額及び増減率は、表示単位未満を四捨五入した。

年別出火件数

過去10年間の出火件数をみると第1図のとおり、平成26年が80件と最も多く、次いで平成23年の順となっている。平成18年以降の4年間は、60件前後でほぼ横ばい状態が続いており、平成22年は39件と最も少なくなっている。平成27年は52件で、1日当たりの出火件数は0.14件であり、約7日に1件の割合で火災が発生している。

(件) **第1図 年別出火件数**



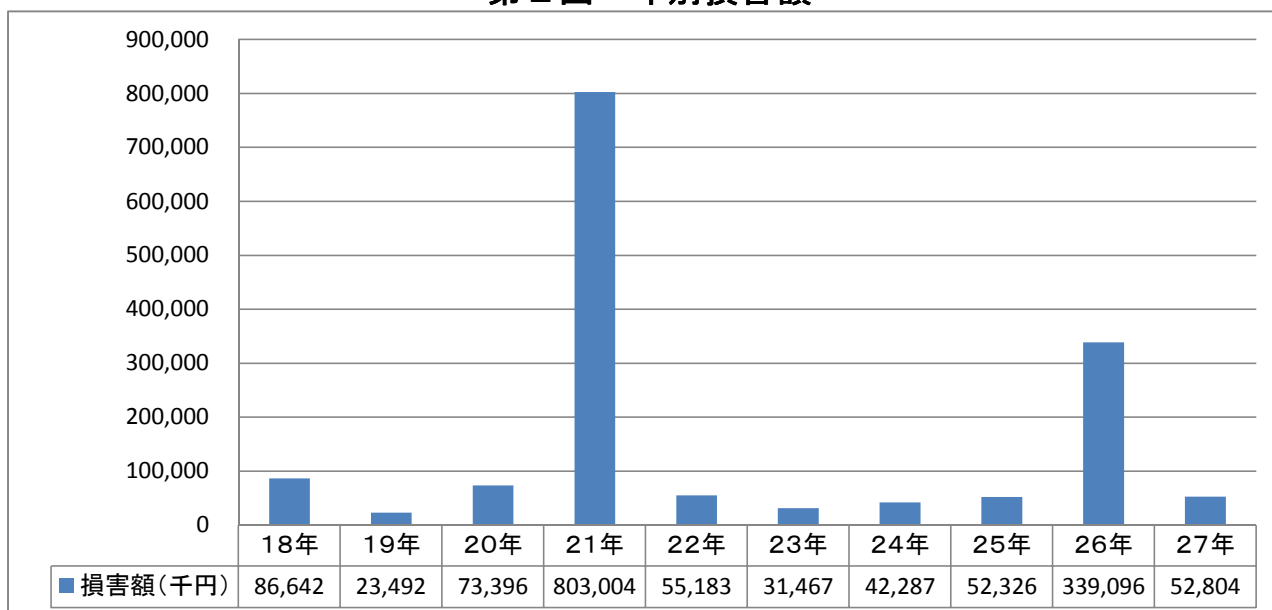
年別損害額

損害額は52,804千円であり、前年(339,096千円)に比べ286,292千円減少している。また、火災1件当たりでは1,015千円となっており、前年(4,239千円)と比べて、3,224千円減少している。

過去10年間の損害額をみると第2図のとおり平成21年が圧倒的に多く、次いで平成26年、平成18年の順となっている。

なお、損害額の82%が建物火災によるものである。

第2図 年別損害額



署別出火件数

出火件数の52件を署別にみると第3表のとおり、最も多いのは稲沢東分署で17件次いで本署の15件、祖父江分署及び平和分署の10件の順となっている。

署別出火件数を前年と比べてみると、稲沢東分署は増加、本署、祖父江分署及び平和分署は減少し、合計で昨年の80件から35.0%減少して52件となっている。

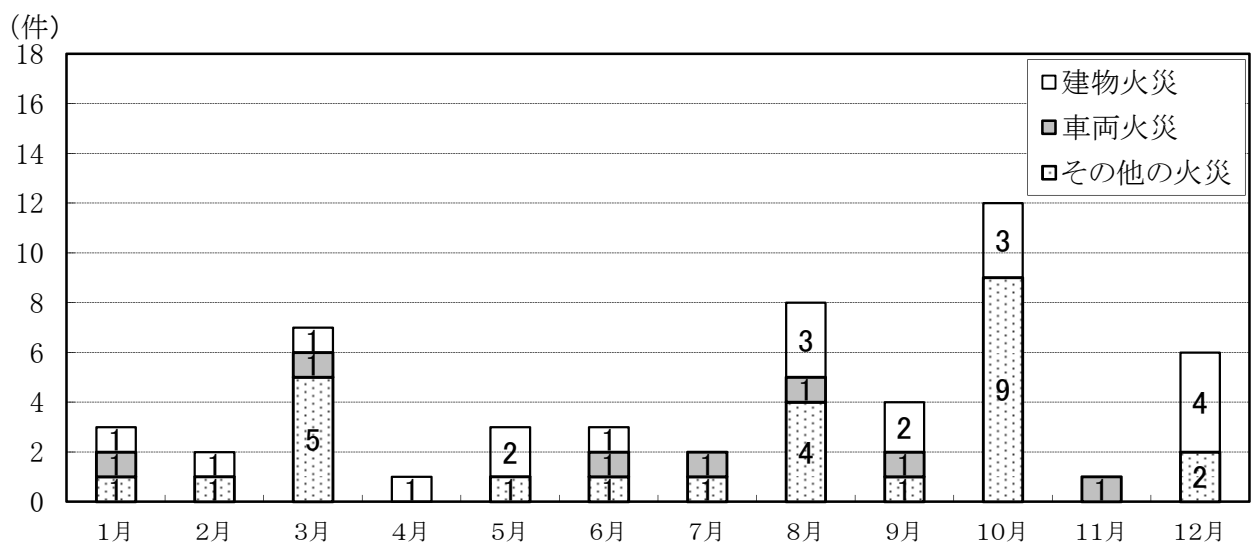
第3表 署別出火件数前年比較

	平成27年(A) 出火件数	平成26年(A) 出火件数	増減(C) (A-B)	増減(%) (C/B)
本署	15	32	-17	-53.1
稲沢東分署	17	16	1	6.3
祖父江分署	10	20	-10	-50.0
平和分署	10	12	-2	-16.7
合計	52	80	-28	-35.0

月別出火件数

月別の発生状況は、4月及び11月が最も少ない1件であり、火災種別ごとにみると建物火災は12月に4件、車両火災は1月、3月、6月から9月及び11月に1件、その他の火災は、10月に9件と最も多くなっている。

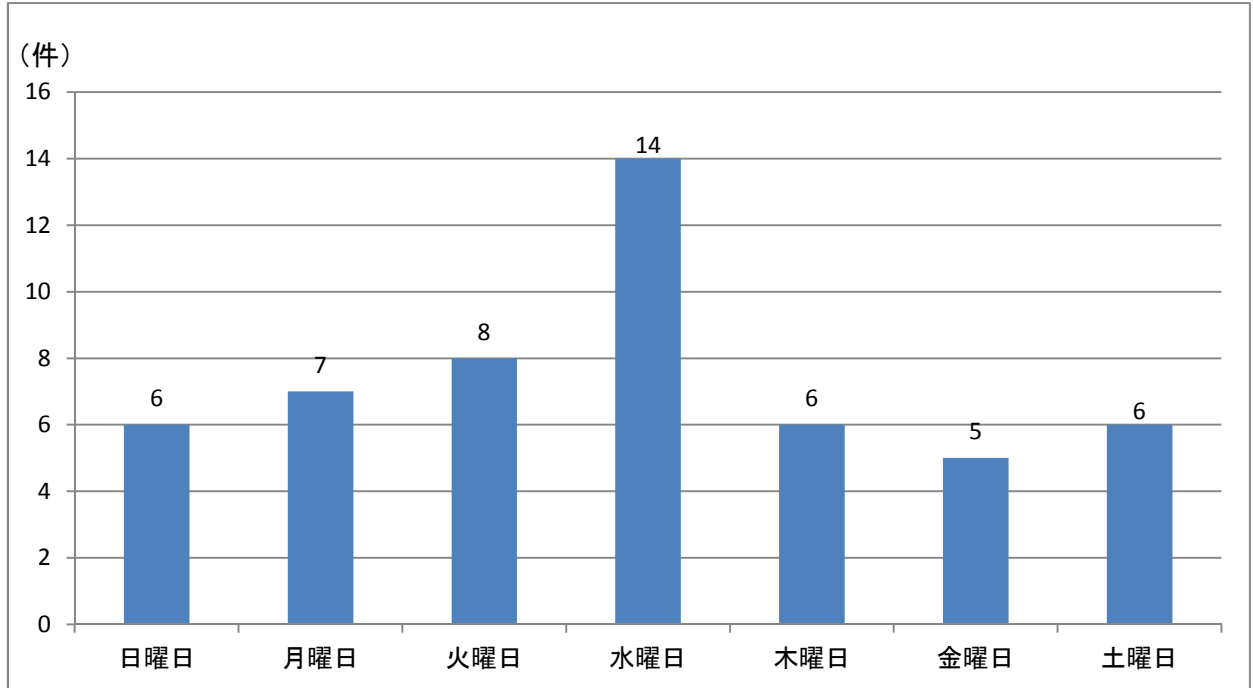
第4図 月別出火件数



曜日別出火件数

出火件数52件を曜日別にみると第5図のとおり、水曜日が14件と最も多く、次いで火曜日が8件となっている。

第5図 曜日別出火件数

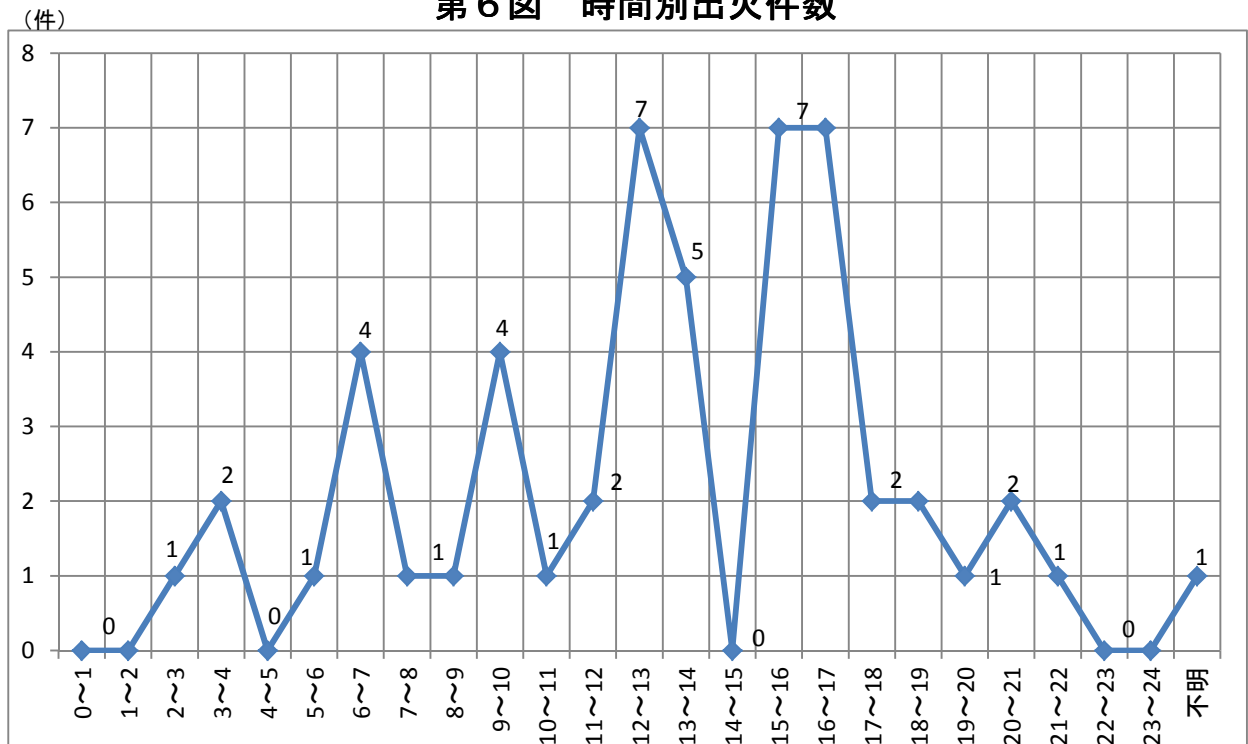


時間別出火件数

出火件数52件を時間別にみると第6図のとおり、12時から17時までが26件と最も多くなっており、次いで6時から10時までが9件となっている。

全体的に見ると、就寝している可能性のある22時から6時までの出火件数は5件であり、一般的に家事や仕事をしている6時から22時までに48件と多く発生している。

第6図 時間別出火件数

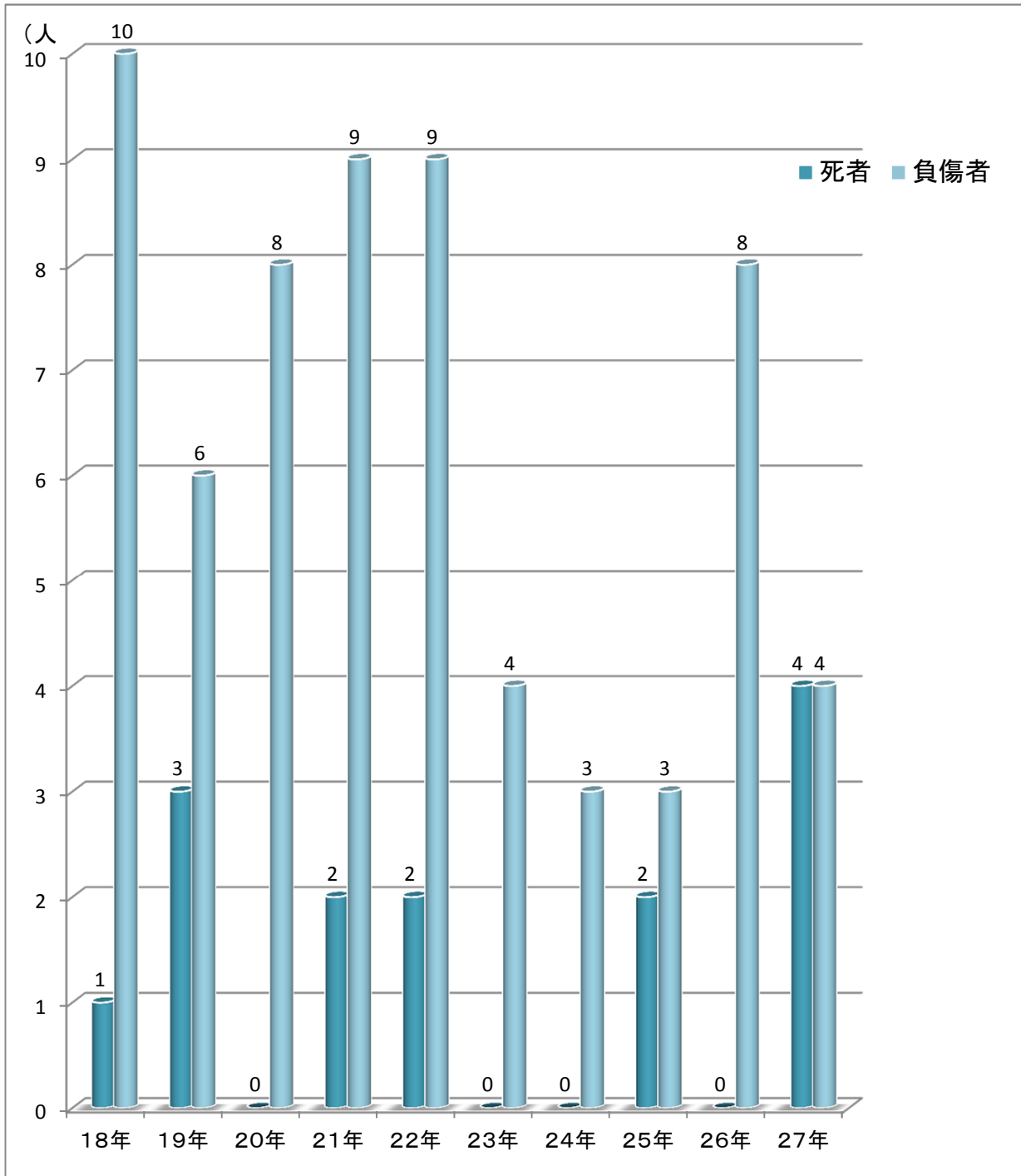


火災による死傷者数

平成27年の火災による死傷者発生状況については、死者4人、負傷者4人であった。過去10年間の死傷者数は第7図のとおり、死者数は平成27年が4人と最も多くなっている。

負傷者数は平成18年が10人と最も多く、次いで平成21年及び平成22年の9人の順となっている。

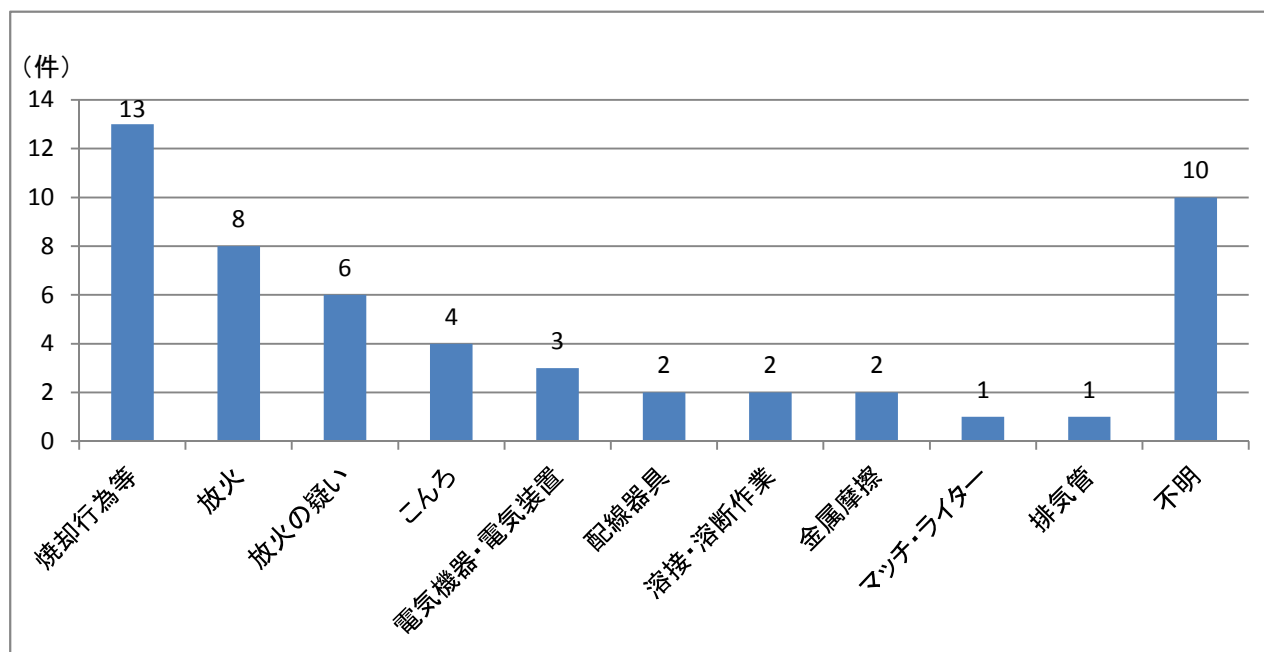
第7図 年別死傷者数



出火原因別出火件数

出火件数52件を出火原因別にみると第8図のとおり、焼却行為等による火災が13件と多く発生し、全体の25%を占めている。

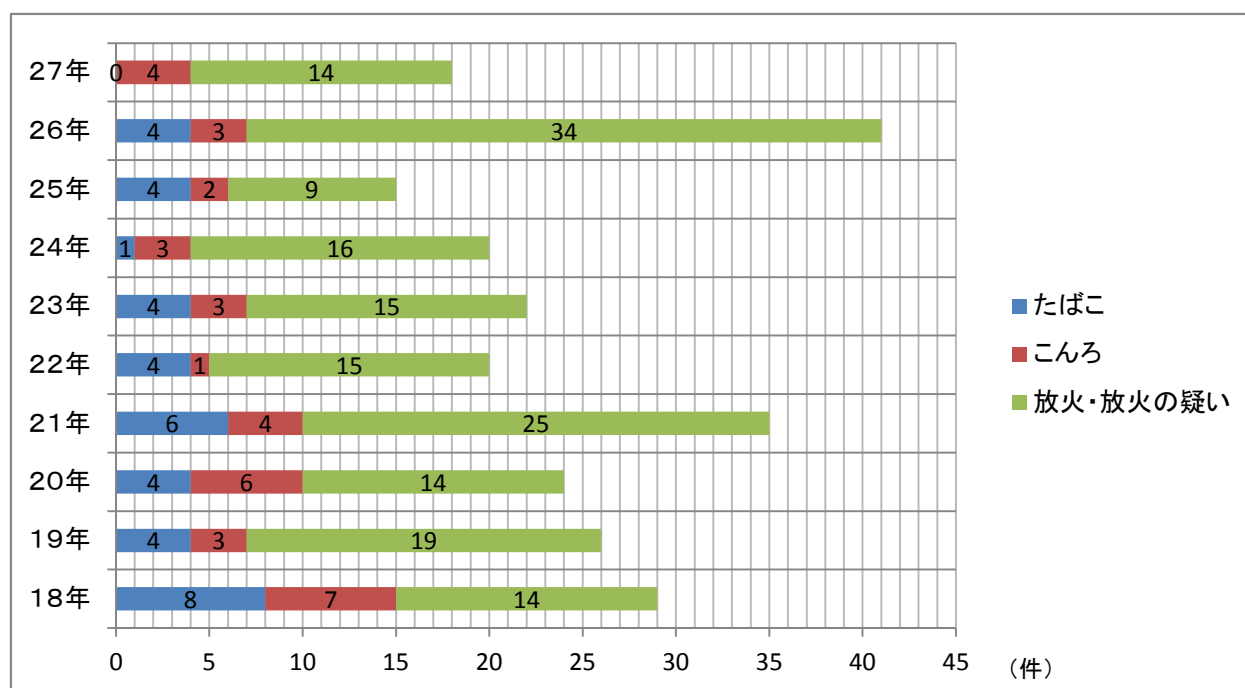
第8図 出火原因別出火件数



出火原因の推移

過去10年間の主な出火原因の推移をみると第9図のとおり、平成17年以降放火・放火の疑いによるものが毎年上位を占め、平成26年の34件を最高に、次いで平成21年の25件と多く発生している。

第9図 出火原因の推移



救 急 概 況

救急業務実施状況は、第1表のとおり救急出場件数は5,653件で前年と比較して6件増加している。1日当りの平均出場件数は、15.5件の割合で救急隊が出場したことになる。

また、搬送人員は5,449人で前年と比較して9人増加している。

なお、当消防本部管内の住民25人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

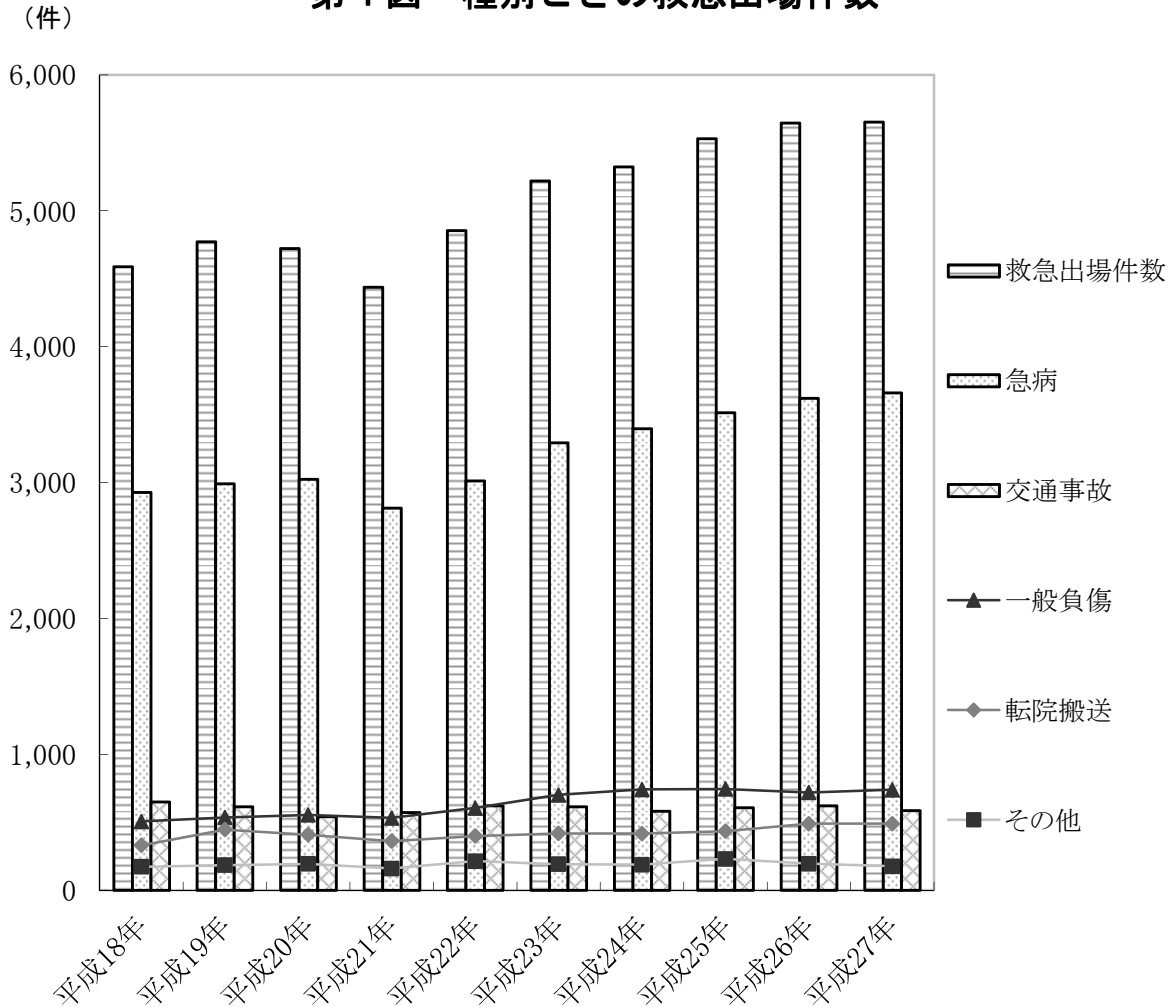
第1表 救急業務実施状況

事故種別 署別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	
本署	平成26年	件数	13	1	1	224	18	9	263	4	16	1,206	109	1,864
		人員	4	1		233	18	9	251	4	12	1,131	109	1,772
	平成27年	件数	9			187	18	10	239	5	9	1,134	82	1,693
		人員				195	18	10	233	4	8	1,068	80	1,616
稲沢東分署	平成26年	件数	12		1	213	29	9	242	12	19	1,398	216	2,151
		人員	3			217	28	8	241	13	15	1,326	213	2,064
	平成27年	件数	14			207	26	4	295	7	17	1,508	230	2,308
		人員	4			218	25	4	287	8	12	1,448	229	2,235
祖父江分署	平成26年	件数	1		2	89	11	1	124		6	529	112	875
		人員	1		1	90	11	1	122		4	511	111	852
	平成27年	件数	3		4	95	8	5	102	3	6	528	135	889
		人員	2		1	100	8	5	101	3	4	502	136	862
平和分署	平成26年	件数				96	13	5	90	2	5	488	58	757
		人員				114	13	5	87	2	2	475	54	752
	平成27年	件数				98	12	8	103	1	2	491	48	763
		人員				100	11	8	98	1	2	469	47	736
合計	平成26年	件数	26	1	4	622	71	24	719	18	46	3,621	495	5,647
		人員	8	1	1	654	70	23	701	19	33	3,443	487	5,440
	平成27年	件数	26		4	587	64	27	739	16	34	3,661	495	5,653
		人員	6		1	613	62	27	719	16	26	3,487	492	5,449

種別ごとの救急出場件数

救急出場件数5,653件を種別ごとに見ると、第1図及び第2表のとおりであり、第1図を見ると、急病は今までの最高となり、他についてはほぼ横這いである。

第1図 種別ごとの救急出場件数



第2表

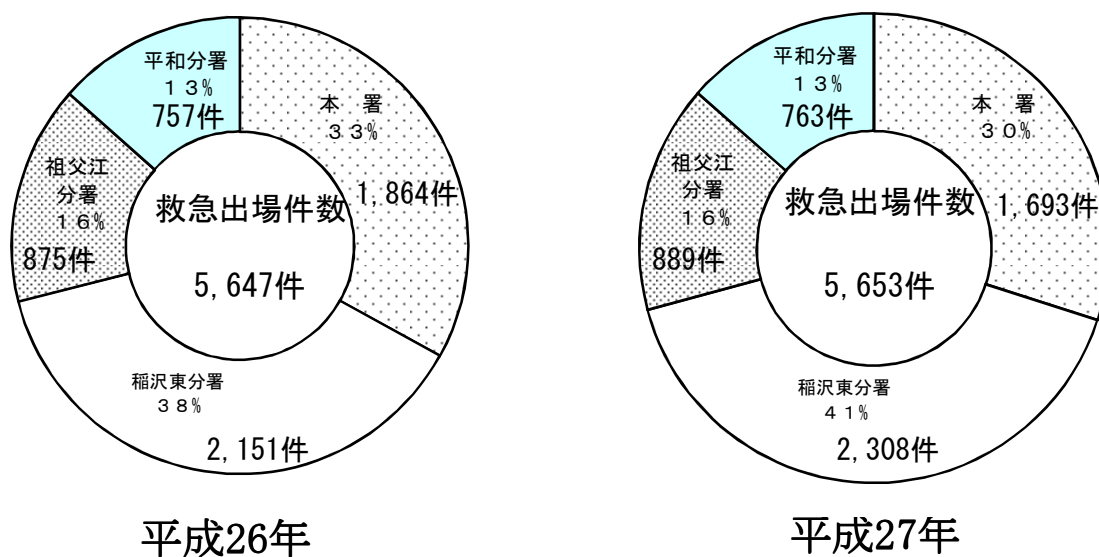
種別 \ 年別	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
救急出場件数	4,588	4,773	4,722	4,437	4,855	5,221	5,323	5,531	5,647	5,653
急病	2,927	2,992	3,025	2,812	3,014	3,294	3,396	3,514	3,621	3,661
交通事故	651	616	541	572	623	615	581	608	622	587
一般負傷	506	535	554	532	605	702	742	745	719	739
転院搬送	331	446	408	361	399	418	416	434	490	490
その他	173	184	194	160	214	192	188	230	195	176

署別救急出場件数

救急出場件数5,653件を署別に見ると第2図のとおり稲沢東分署が2,308件と最も多く、次いで本署、祖父江分署、平和分署の順となっている。

前年と比較すると、本署は171件減少し、稲沢東分署は157件、祖父江分署は14件、平和分署は6件増加し、合計6件の増加となった。

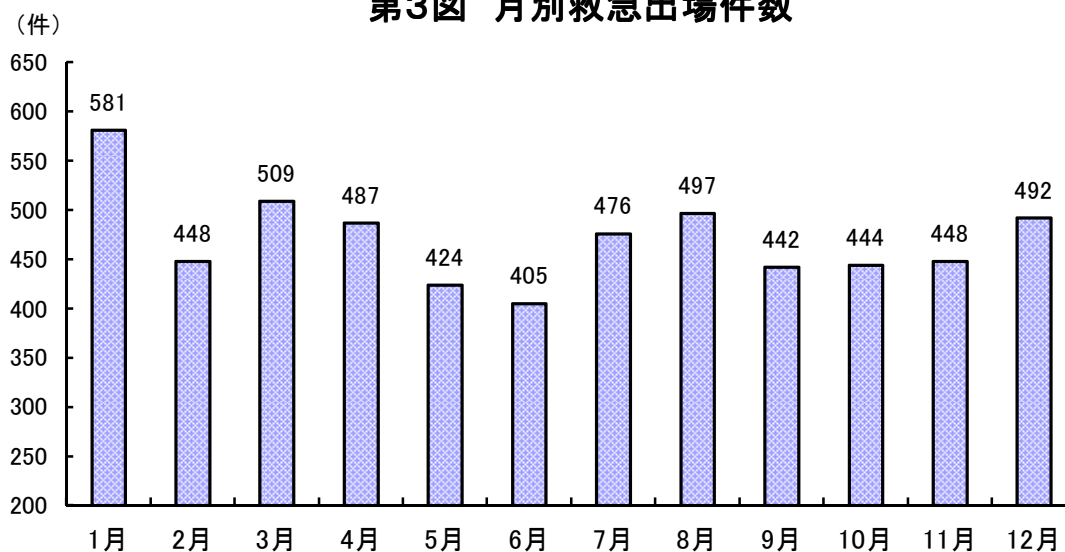
第2図 署別救急出場件数



月別救急出場件数

救急出場件数5,653件を月別に見ると、第3図のとおり、1月が581件と最も多く、次いで3月、8月の順となっている。最も少なかったのが6月の405件で、月平均にすると471件となる。

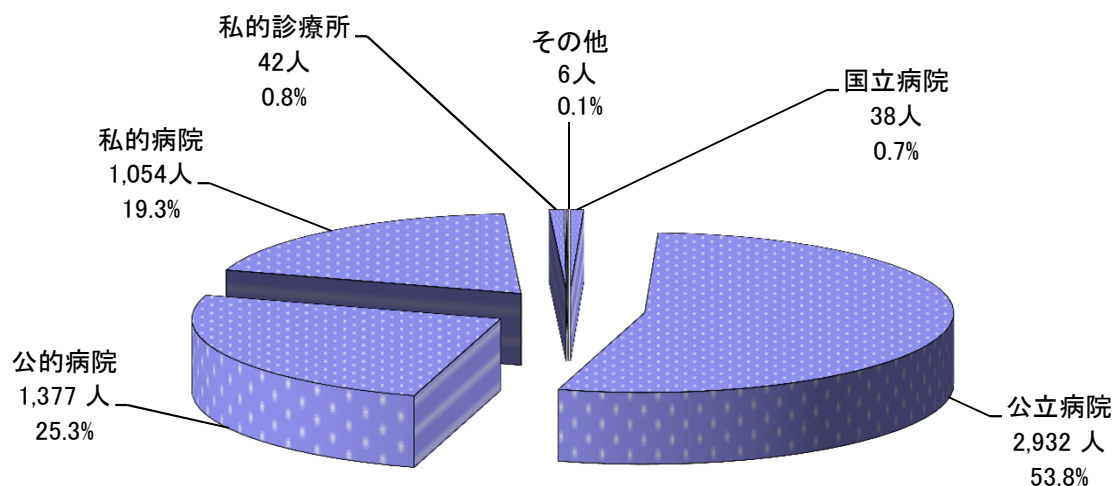
第3図 月別救急出場件数



医療機関別搬送人員

搬送された5,449人の搬送状況を医療機関別に見ると、第4図のとおり公立病院が2,932人と最も多く、次いで公的病院、私的病院の順となっている。

第4図 医療機関別搬送病院

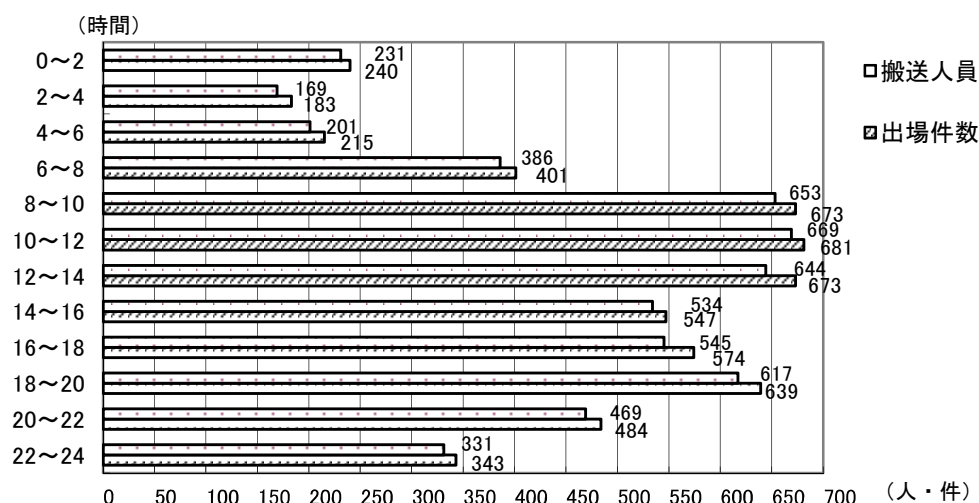


時間別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数5,653件及び搬送人員5,449人を時間別に見ると、第5図のとおりである。

出場件数は10時から12時の時間帯が681件と最も多く、次いで8時から10時と12時から14時になっており、最も少ない時間帯は2時から4時の183件となっている。

第5図 時間別救急出場件数及び搬送人員

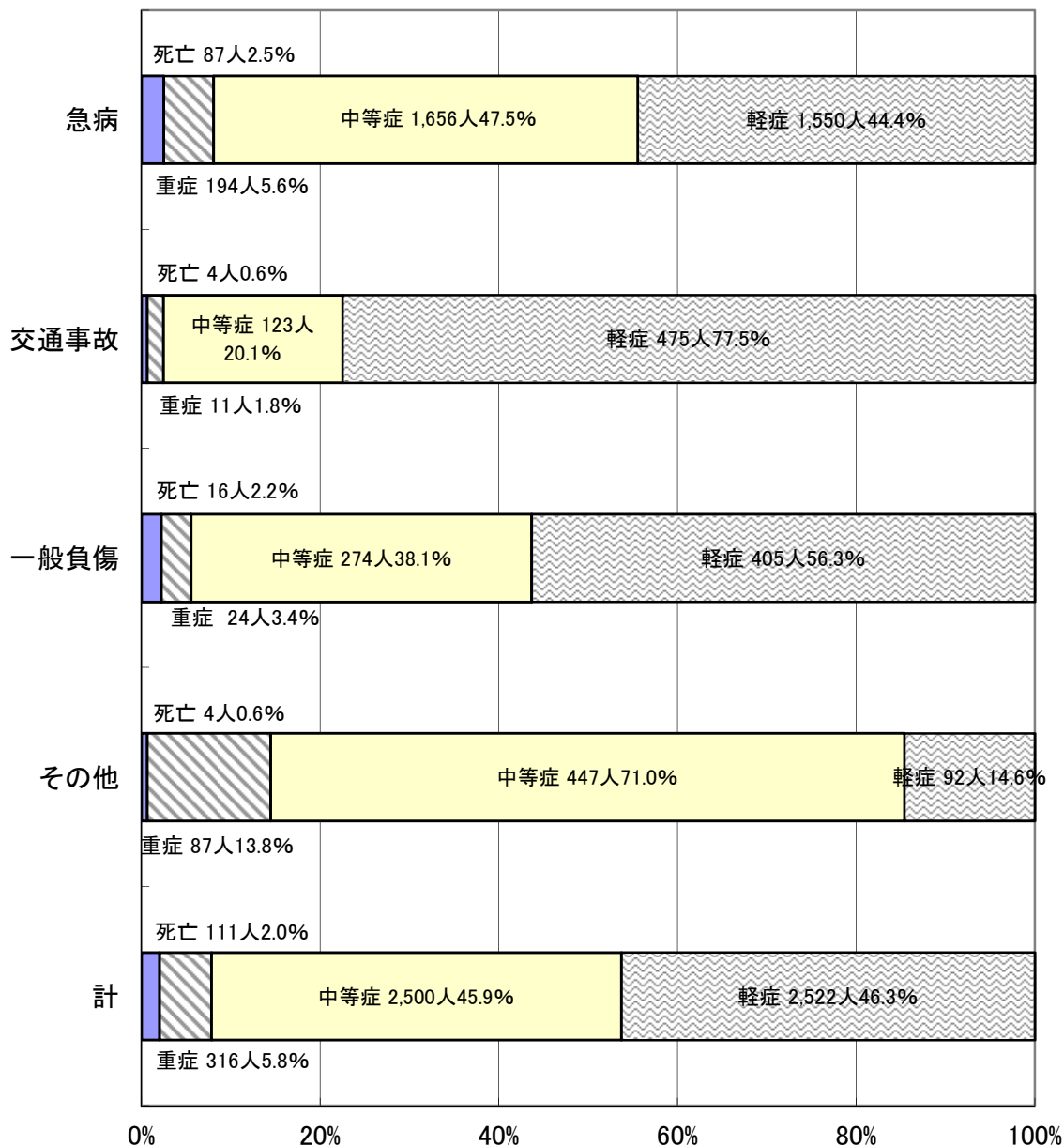


傷病程度別搬送人員

搬送人員 5,449 人の傷病程度別状況は第 6 図のとおりであり、軽症が 2,522 人と最も多く、次いで、中等症、重症、死亡の順となっている。

傷病程度の軽症割合は、交通事故が 613 人のうち 475 人（77.5%）が軽症と診断され最も多く、次いで一般負傷、急病、その他の順となっている。

第6図 傷病程度別搬送人員の状況

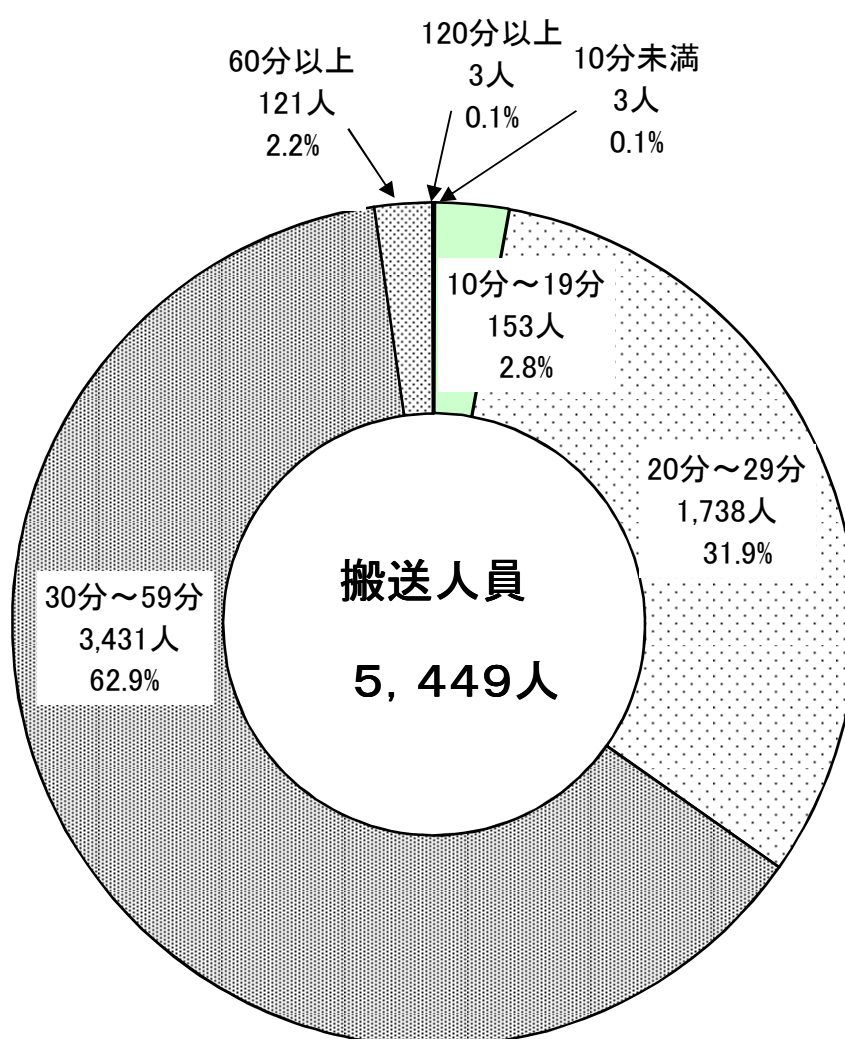


収容所要時間別搬送人員

搬送人員 5,449 人について収容所要時間（救急隊の覚知から医療機関等に収容するまでに要した時間）を見ると、第7図のとおりである。

搬送人員の 2.9% が 20 分未満に病院に収容され、30 分未満になると 34.8% が収容されている。しかし、30 分以上は 65.2% であり、この中には管外の医療機関への搬送や転院搬送により収容まで時間を要したものが含まれている。

第7図 収容所要時間別搬送人員の状況



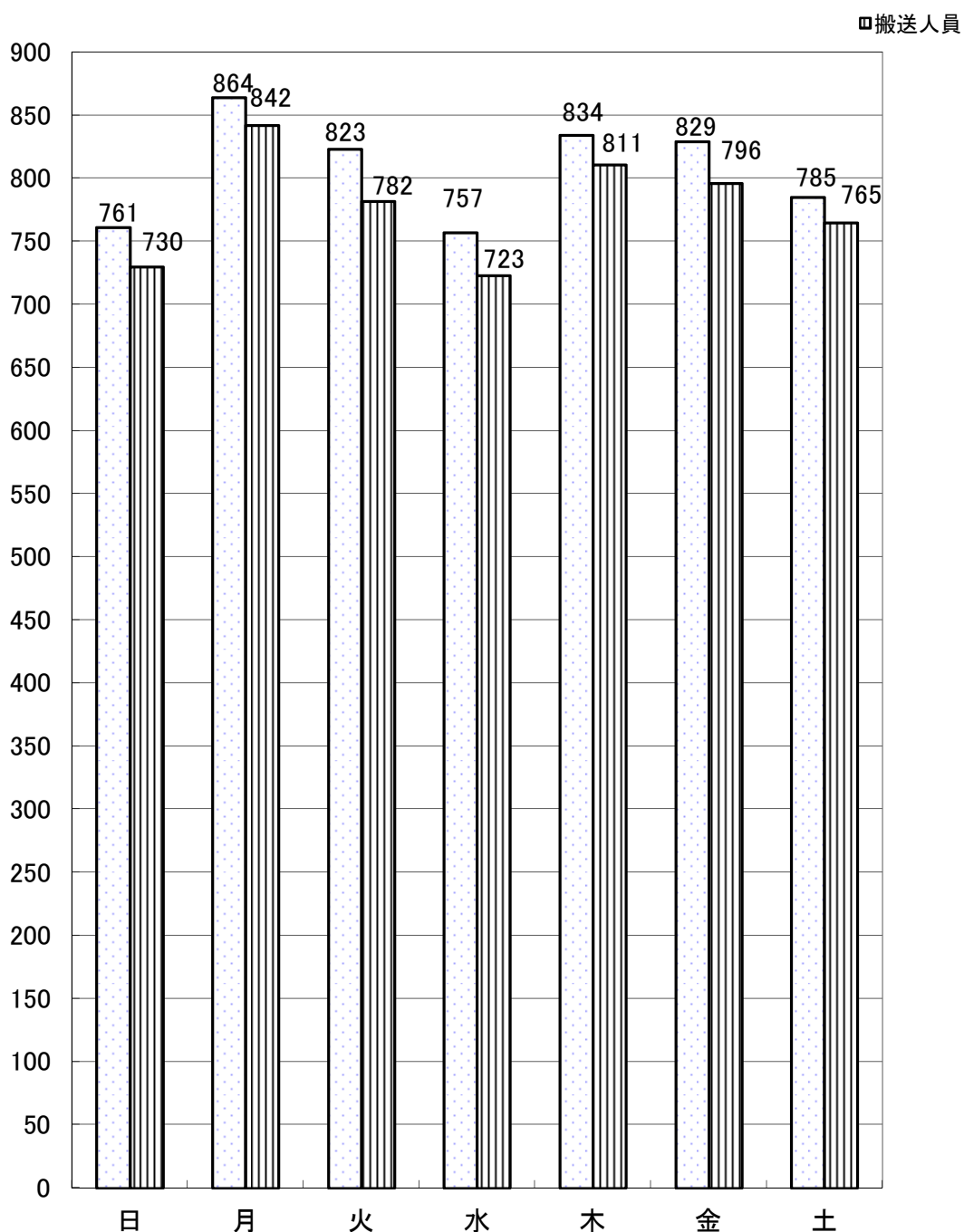
曜日別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数 5, 6 5 3 件及び搬送人員 5, 4 4 9 人を曜日別に見ると、第 8 図のとおりである。

出場件数は月曜日が 8 6 4 件と最も多く、次いで木曜日、金曜日の順となっており、最も少ないのは水曜日の 7 5 7 件となっている。

搬送人員は、月曜日が 8 4 2 人と最も多く、次いで木曜日、金曜日の順となっており、最も少ないのは水曜日の 7 2 3 人となっている。

(件・人) 第8図 曜日別救急出場件数及び搬送人員



救 助 概 況

救助出動及び活動状況は、第1表のとおりである。

救助出動件数は45件で、前年の47件と比較すると2件減少している。

出動件数を事故種別で見ると、交通事故が21件（46.7%）で最も多く、次いで建物等による事故が11件（24.5%）となっている。

現場活動件数は27件であり、この活動により29人を救出している。

救出人員数を事故種別で見ると、交通事故が10人で全体の34.5%を占めている。

第1表 救助出動及び活動状況

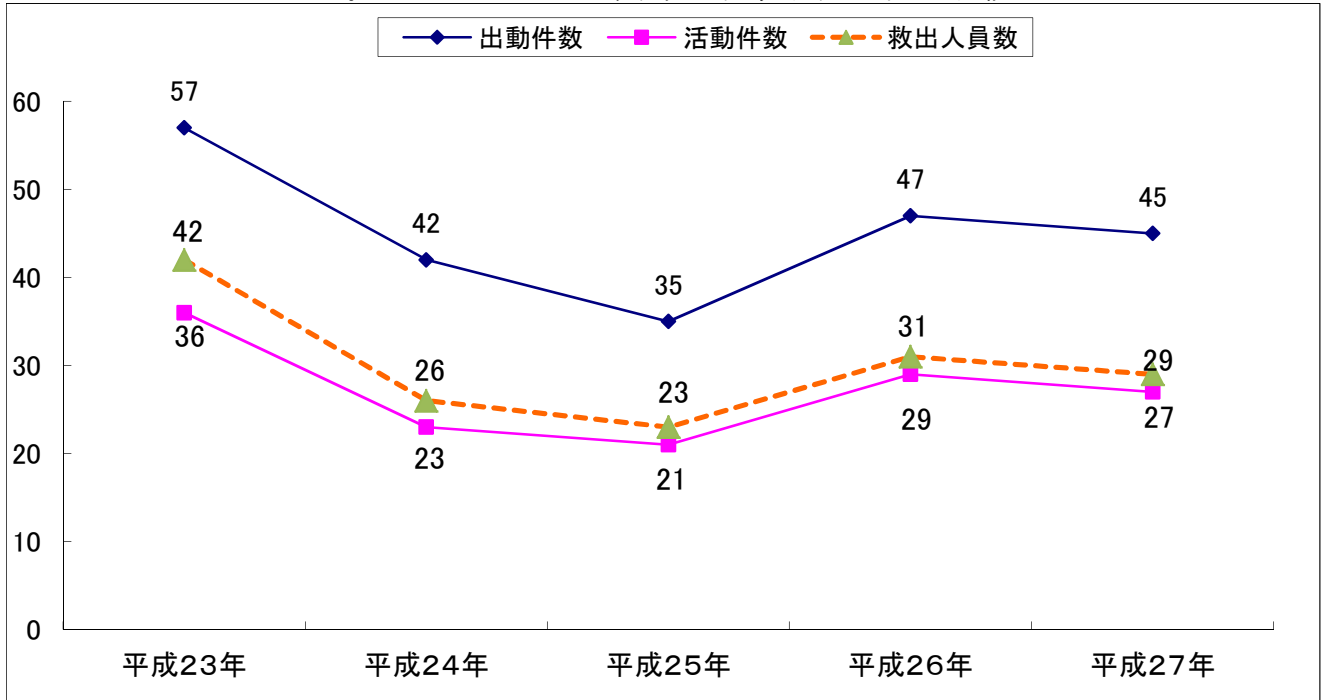
所轄別		事故種別	火災によるもの	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	自然災害	その他の事故	合計
本署	出動件数	平成26年	2	12	0	3	6	0	0	0	23
		平成27年	1	4	0	1	5	0	0	5	16
	活動件数	平成26年	2	8	0	3	3	0	0	0	16
		平成27年	1	1	0	1	4	0	0	4	11
	救出人員	平成26年	0	8	0	3	3	0	0	0	14
		平成27年	1	1	0	1	4	0	0	4	11
稲沢東分署	出動件数	平成26年	1	6	0	1	3	0	0	3	14
		平成27年	0	7	2	0	4	0	0	2	15
	活動件数	平成26年	1	2	0	1	2	0	0	2	8
		平成27年	0	3	1	0	2	0	0	2	8
	救出人員	平成26年	1	6	0	1	2	0	0	2	12
		平成27年	0	4	1	0	2	0	0	2	9
祖父江分署	出動件数	平成26年	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		平成27年	1	6	0	0	0	0	0	0	7
	活動件数	平成26年	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		平成27年	1	2	0	0	0	0	0	0	3
	救出人員	平成26年	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		平成27年	1	2	0	0	0	0	0	0	3
平和分署	出動件数	平成26年	0	6	0	0	2	0	0	1	9
		平成27年	0	4	0	0	2	0	0	1	7
	活動件数	平成26年	0	1	0	0	2	0	0	1	4
		平成27年	0	3	0	0	2	0	0	0	5
	救出人員	平成26年	0	1	0	0	2	0	0	1	4
		平成27年	0	3	0	0	2	0	0	1	6
合計	出動件数	平成26年	3	25	0	4	11	0	0	4	47
		比率	6.4%	53.2%	0.0%	8.5%	23.4%	0.0%	0.0%	8.5%	100%
		平成27年	2	21	2	1	11	0	0	8	45
		比率	4.4%	46.7%	4.4%	2.2%	24.5%	0.0%	0.0%	17.8%	100%
	活動件数	平成26年	3	12	0	4	7	0	0	3	29
		平成27年	2	9	1	1	8	0	0	6	27
	救出人員	平成26年	1	16	0	4	7	0	0	3	31
		平成27年	2	10	1	1	8	0	0	7	29

過去5年間の救助出動件数を見ると、第1図のとおり平成23年の57件が最も多く、次いで平成26年の47件となっている。

救助活動件数を見ると、平成23年の36件が最も多く、次いで平成26年の29件となっている。

救出人員数を見ると、平成23年の42人が最も多く、次いで平成26年の31人となっている。

第1図 過去5年間の救助出動等の推移



救助出動した45件を所轄別で見ると、第2図のとおり本署区域が16件（35.5%）と最も多く、次いで稲沢東分署区域が15件（33.3%）となっている。

第2図 所轄別出動状況

